積み立て増!!

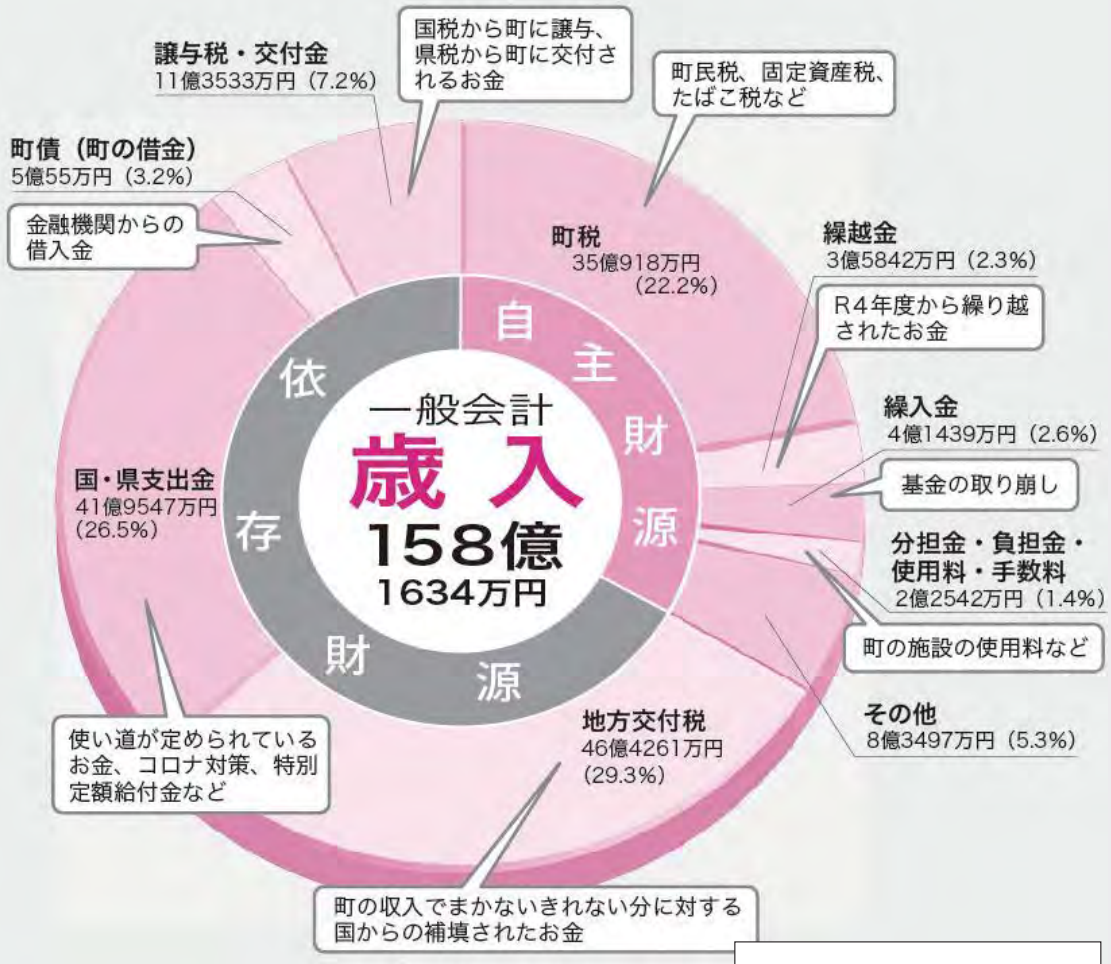
定例会 9月会議

9月1日～22日

提案された令和4年度決算認定・条例案件・予算案件・人事案件など24件と議員の提出した発議案4件を合わせた28件について審議した結果、全て原案のとおり可決・合意をしました。

一般質問は、9議員が、城山公園整備、子どもに係る政策、マイナンバーカード、教育、農業支援などについて町の見解をただしました。

歳入の内訳



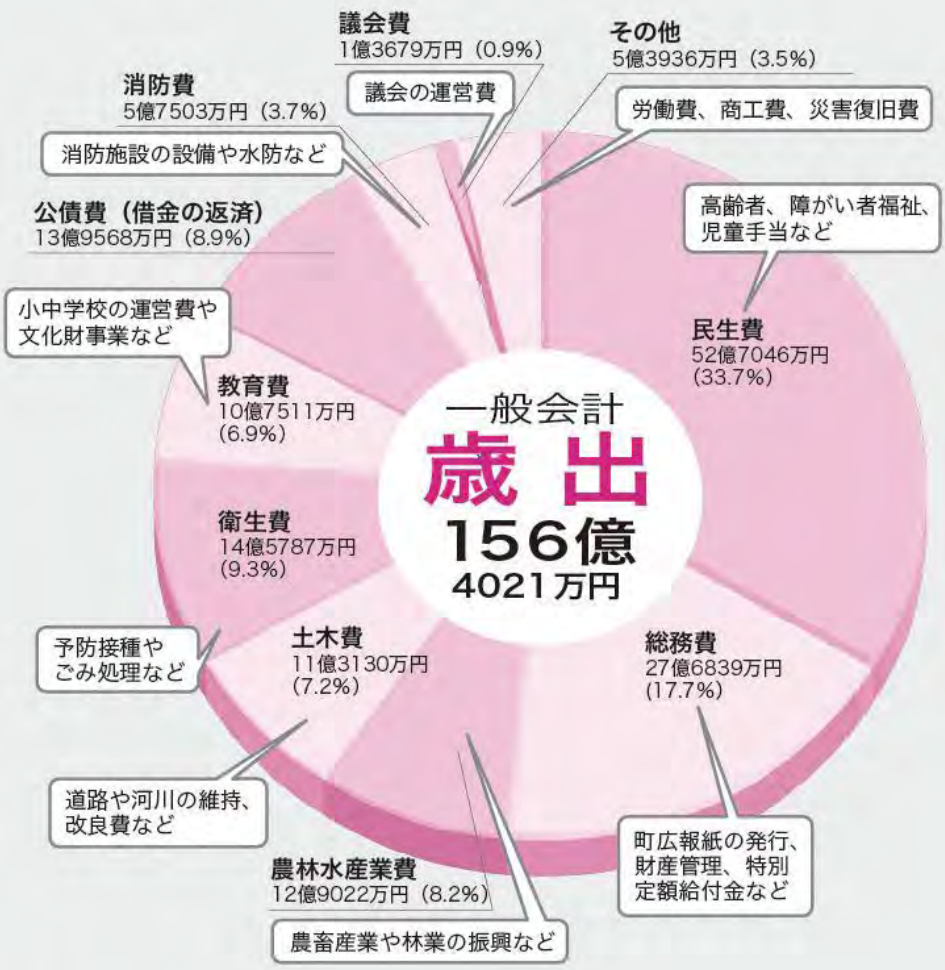
金額・％は端数処理のため、合致しない場合があります。

令和４年度の決算状況

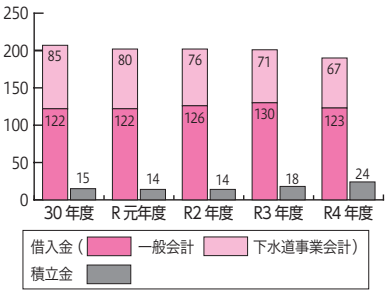
会計区分	一般会計	特別会計				下水道事業会計	
		国民健康保険	後期高齢者	介護保険	介護予防サービス	収益的収支	資本的収支
歳入	158億1634万円	31億8147万円	3億5120万円	34億8554万円	831万円	13億234万円	4億3435万円
歳出	156億4021万円	31億551万円	3億4988万円	33億7147万円	713万円	12億6875万円	10億6027万円
収入未済額	1億1772万円	7688万円	54万円	559万円	0円	4429万円	41万円
採決の結果	全員賛成						

令和4年度 決算 借金減らし

歳出の内訳

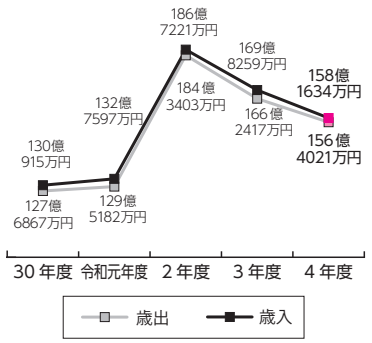


過去5年間の積立金・借入金現在高の推移



※積立金は、財政調整基金、社会福祉事業基金、町債管理基金、公共施設等整備基金、国際交流基金、まちづくり基金です。

過去5年間の一般会計決算額の推移



監査意見

熊谷代表監査委員

監査委員　熊谷　順太
　　箱崎　勝之

令和4年度決算は、町税の収入率が過去10年の中で最も高くなっている。町債発行額と公債費決算額とのバランスを測り、圧縮などに努め、財政調整基金が17億円弱まで積み上がったことは評価できる。

本町では、公共施設の老朽化など行政需要の増加が想定され、健全財政の堅持、「なければならないもの」に財源を振り向け、手持ち財源の充実を図っていくことを望む。

コロナ禍において住民福祉の増進を図った町行政であったと総括できる。職員が能力を発揮できるよう自ら働きやすい環境の確立を期待する。